

製造業・食品加工業に安心・安全を

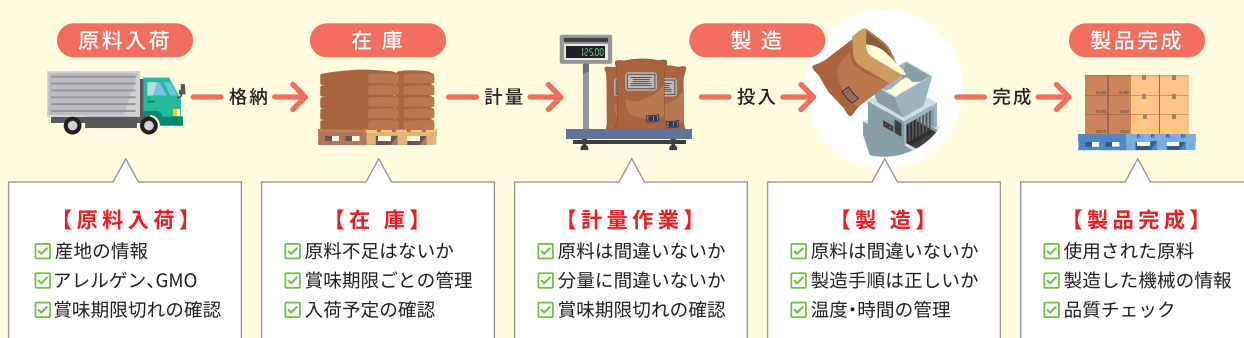
生産管理システム

原料から生産プロセスにおける品質・リスクを管理し、業務効率を改善

製造業において欠かせない『**トレーサビリティ**』と『**製造原価計算**』をシステム化
期限切れ原料の使用ミス、原料の配合ミス、製造工程の手順ミスといった製造事故も未然に防ぎます

① 入荷・在庫・製造管理の運用

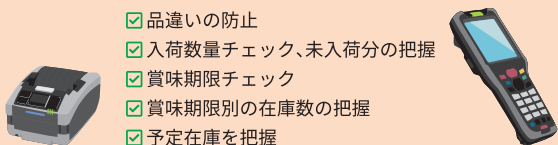
システム導入後のイメージ



原料情報、計量値の指示、製造手順などを自動表示できます。製造時はナビゲーションに従って計量・投入するだけ。

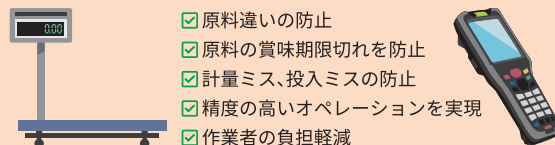
ハンディターミナルを活用した入荷検品

ハンディで原料のバーコードを読み取り、システムと連動
シンプルな操作で、表示される画面を見ながらかんたんに
確認作業をすすめられます。ラベルの発行も対応可能。



計量器 × ハンディターミナルでらくらく製造

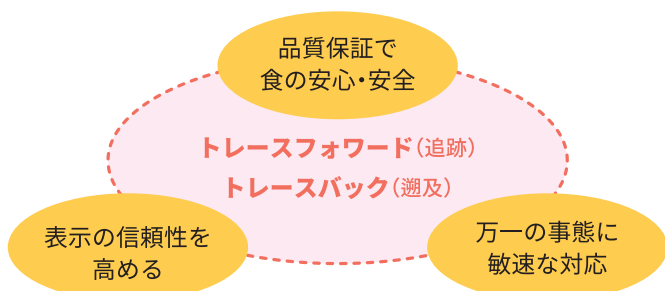
製造手順などのオペレーション指示をハンディで管理
計量器とハンディを活用して、あらかじめ登録しておいた
製造手順や指示内容を正確に実施できるようにします。



製造時のロスや作業ミスの発生を抑え、安定した高品質の製品を生産できます



製造トレーサビリティ

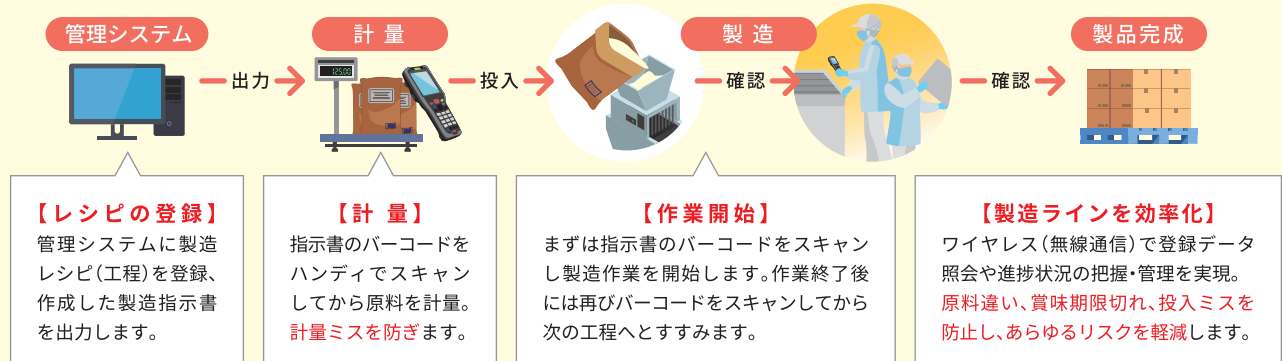


製造原価計算



② 工程管理 | ハンディターミナル導入・運用

運用イメージ



生産管理システム導入により、期待できる効果

レシピの一元管理

● レシピ管理(製品・半製品)

レシピに製造工程手順、注意事項、何階層にもわたる製品の構成原料・包材、半製品などを登録し、その所要量を計算します。継承的な分析や柔軟な変更が可能のため、**新製品の開発・構成変更も素早い対応を実現**します。

近未来在庫予測

● 在庫管理機能が強化

現在在庫数(原料・包材・半製品)をリアルタイムに把握できます。過不足が起こらないよう、生産計画から在庫予測をし、**精度の高い在庫管理**が可能となります。
さらには急を要する生産に対してもシミュレーションを行えるので、在庫不足で生産ができないという状況を回避できます。

欠品による機会損失防止

トータル在庫圧縮

目標・実際原価設定

● 製品別利益管理と原価管理

製品別に、適切な製造原価(直接費・間接費)を算出します。
目標原価を設定しておくことで実際原価との比較ができ、ムダや課題点を見つけ出すことができます。
また、自社の原価構造を分析し、**改善ポイントや製品作りへの意思決定を支援**。利益拡大に役立てられます。

利益拡大の支援

生産ミスの防止

● 製造事故を未然に防止

製品の製造工程・計量・小分け・配合・投入順をシステムで管理しますので、現場におけるさまざまな人的ミス(原料違い、誤計量、誤投入、作業手順ミス)を未然に防止し、**高品質の生産体制を確保**できます。

高品質な製品生産

業務内容やご要望を伺ったうえで必要なシステム部分を運用方法とあわせてご提案いたします
現場での運用に関する課題点の相談や、既存システムへのデータ連携なども可能です

当社はお客さまの現場改善をコンサルティング、管理システムの導入支援をサポートしています。詳しくはお問い合わせください。
記載のシステム運用のほか、製品などの入出荷・検品に適した「在庫管理システム」などもございます。

